

## 冬期の道路規制について

工 事 名 令和7年度高田管内消融雪設備修繕工事

工事場所 新潟県上越市寺地先

会 社 名 株式会社 興和

発 表 者 五十嵐 大寛

### 1 はじめに

国道18号寺ICの交差点部には路面凍結防止を目的に融雪配管が埋設されているが近年老朽化により漏水が発生し融雪機能を果たせなくなっている。本工事では漏水箇所を特定するための仕切弁を取付ける作業を行った冬期施工の道路規制について報告する。

### 2 概要

仕切弁を取付けた箇所は交差点の右左折車線の路肩である。カーブしている箇所である事と開削を行うため夜間もバリケードを設置したままにするため、工事規制区域を昼夜明確にする必要がある。また、冬期での施工となるため除雪車にも考慮する必要があった。

### 3 現場での対応

#### ① 視認性を向上させる点滅灯の設置

使用機材：「トワイライトテック」(NETIS登録番号：KT-200086-VE)

薄暮時やゲリラ豪雨時において、保安等の視認性向上を目的とした技術である。本技術は照度を2段階で読み取る機能を備え、薄暮時やゲリラ豪雨時は高輝度で発光、夜間は輝度を通常に戻し発光することで状況に応じた視認性が良い発光に代わるため安全性が向上する。また、同期点滅するためドライバーが工事規制区域の形状を認識しやすく安全性が向上する。

#### ② 除雪車を考慮したバリケードの設置

バリケードはカラーコーンとコーンバーとして除雪車が接触したとしても損傷しないよう、また早期に復旧できるようにした。



写真 1. 規制状況全景



写真 2. 点滅灯（トワイライトテック）

#### 4 結果

点滅灯（トワイライトテック）は天候が悪い暗い日中でも点滅することから冬期の道路規制時には有効と思われる。また、カラーコーンとコーンバーでの規制については、コンパクトな規制となり除雪車との接触も無く工事は進行している。

今後も安全管理を徹底し、除雪業者と連絡を密にとり工事を進めたいと思う。